

自然観察ちば2009年度 総会報告

佐野由輝（大網白里町）

日時:2009年2月11日(日)13時~15時30分 会場:船橋市勤労市民会館 出席者:75名

当協議会の2009年度総会が、船橋市勤労市民会館で開催されました。はじめに、和仁代表よりあいさつがあり、総会にこれだけの大人数が出席する団体は珍しいこと、今年度の協議会の観察会の計画を決定する場なので、積極的に発言してほしいことを伝えました。そして、真鍋昌義を議長に、佐藤一枝及び麦野裕を書記に選出し、議事が始まりました。冒頭、議長より、総会出席者75名、委任状提出者179名、計254名で、会員総数352名の7割を超えており、総会が成立した旨の宣言がありました。

続いて、1号議案として、小西事務局長より2008年度行事報告がありました。2008年度は、本協議会発足25周年の節目の年であり、記念行事が多く開催されたこと、県や市、企業等からの委託、協力要請、公募事業への応募が年々増加しており、2008年度も数多くの観察会が開催されたこと、中でも新たな事業として、自然環境調査事業を行ったこと等の説明がありました。また、近年の受託事業の増加を反映して、収入に占める報奨金及び受託金の割合が会費を上回っているとの説明がありました。次に、2号議案として、会計担当の浦部から、2008年度会計決算報告があり、収入について、年度途中で新たな受託が加わったため、当初予算より受託金が増えたこと、支出について、25周年記念行事の関係で行事費が予算より増加したこと、繰越金が増えたこと等について説明がありました。そして、会計監査の嶋野から、適正に会計処理が行われたとの会計監査報告がありました。質疑では、出席者から会計決算報告書の体裁について、改善する必要があるとの意見があり、今後改めることとなりました。議決の結果、1号議案、2号議案については、承認されました。

10分間の休憩をはさんだ後、3号議案として、佐野より昭和の森観察会関係及び受託事業等について、田口より東葛地区観察会関係について、河添よりSSN関係について、盛一より研修会関係について、2009年度行事計画案の説明がありました。2009年度も数多くの行事が計画されており、多くの指導員の参加を期待していました。続いて、4号議案として、会計担当の岩澤より2009年度予算案について説明がありました。本予算案は、原時点で確定している収入、支出について計画しているものであり、年度途中で受託事業の追加等で収入や支出が増える可能性があるとのことでした。質疑では、出席者から東葛地区の観察会の内容についての質問や、繰越金が減少している理由について質問がありました。繰越金が減少している理由としては、収入面で受託金がどの程度あるのかが不明であること、2009年度のみ支出として、25周年記念行事があること、協議会パンフレットの増刷のため広報費が増加したことが理由であるとの回答がありました。議決の結果、3号議案、4号議案については、承認されました。続いて、5号議案として、小西事務局長より規約改正案の説明がありました。規約の改正理由として、本協議会の活動が年々活発化する中、一部の役員へ負担が集中していることから、役員の負担を平準化させるため、役割分担の見直しをする必要があるとの説明がありました。具体的には、これまで2名体制だった事務局を4名体制とし、事務局体制を充実するとのことでした。議決の結果、5号議案は承認されました。

最後に6号議案として役員改選があり、議決の結果、新役員が承認されました。

議長のスムーズな議事進行、出席者からの活発な質疑の結果、予定していた全ての議事が無事終了し、2009年度の活動がスタートすることになりました

特別講演 「自然観察指導員に期待すること」 日本自然保護協会 常勤理事 横山隆一氏

「調べる、広める、守る」、「日本の自然を襲う3つの危機」、「遠くの自然、近くの自然」、「市民政策提案」など、わかりやすいキーワードと、全国の豊富な事例で、思わず納得し、次の行動につながるエネルギーをもらった講演であった。また、懇親会にも出席いただいた。横山さん、芝小路さん、ありがとうございました。

懇親会（イタリア料理 今日和）

参加者57名（会員55名 NACS-J 2名）で盛大に開催され、情報交換や話に花がさいた。（田口）

三番瀬観察会（講師 田島正子 吉田祥子 和仁道大）

参加者34名で開催され、比較的穏やかな気候に恵まれ、あわただしくも充実した観察会だった。